

やまがた米だより

No. 1

令和2年6月1日



山形県農林水産部県産米ブランド推進課
山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部
山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト本部

「つや姫」生産者認定証・「雪若丸」生産組織登録証を交付



知事から認定証及び登録証が交付されました



決意表明を行う伊藤和彦さん

今年の「つや姫」「雪若丸」生産に先立ち、3月6日（金）、山形県庁内で「令和2年産『つや姫』生産者認定証及び令和2年産『雪若丸』生産組織登録証交付式」が行われました。例年は大勢の生産者に参加いただき盛大に行っている交付式ですが、今年は新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、最小限の人数で開催しました。交付式では「つや姫」生産者の代表2名と「雪若丸」生産組織の代表2名に、知事からそれぞれ「つや姫」生産者認定証、「雪若丸」生産組織登録証が交付されました。続いて、最上地域代表の伊藤和彦さんからは、「今年も栽培管理にしっかり取り組み、品質が高くおいしい『つや姫』『雪若丸』を生産します」と力強い決意表明がありました。

山形県内では田植え作業が終盤となり、米づくりは順調に進んでいます。令和2年産の「つや姫」「雪若丸」にもご期待ください！

「スマートつや姫」ご存知ですか？



ロボット技術やICT（情報通信技術）を利活用した農業を「スマート農業」とよびますが、その技術が「つや姫」栽培に活用されています。その名も「スマートつや姫」。人工衛星などで撮影した田んぼの写真を画像処理すると、田んぼごとのイネの栄養状態や必要な肥料の量が一目でわかり、例えば広いほ場を管理する大規模農家でも、食味や品質にバラつきがなくおいしい「つや姫」を栽培・出荷することができます。

作業を軽減化するアシストスーツやGPSを利用し自動運転する農業機械等、様々な分野で開発がすすんでいるスマート農業。「つや姫」の栽培管理も“スマート”に進化を続けています！

米づくりプロジェクト 食味コンクール表彰式を開催



受賞者全員で記念撮影（3/6 於山形県庁）

県内各地からエントリーされた「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」の品質・食味を審査し、上位となったコメの生産者や生産組織の方々を表彰しました。令和元年度も高品質・良食味の「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」が出そろい、厳正な審査の結果、山形県知事賞の「つや姫」の部は株式会社奥山農園（河北町）、「雪若丸」の部は奥山和久さん（新庄市）、「はえぬき」の部は渋谷廣さん（寒河江市）に決定しました。

今年も最高のコメを期待しています！

【受賞者】

○山形県知事賞

つや姫の部 株式会社 奥山農園
（河北町）
雪若丸の部 奥山 和久（新庄市）
はえぬきの部 渋谷 廣（寒河江市）

○山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト本部長賞

つや姫の部 沖津 富治（寒河江市）
雪若丸の部 佐藤 勝（酒田市）
はえぬきの部 佐藤 勝（酒田市）

○優良賞

つや姫の部 齋藤 広志（山形市）
雪若丸の部 鶴岡市農協稲作部会
雪若丸専門部
長谷川和人（鶴岡市）
はえぬきの部 菅野総一郎（長井市）

「つや姫」「雪若丸」、今年も順調にスタート！

5月8日（金）、「つや姫」「雪若丸」をはじめ県産米の育苗状況を確認する「健苗育成巡回」を行いました。伺ったのは、山形市農協良質米研究会の川村栄介会長の育苗ハウス。「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」など、約 1,800 枚の苗箱がきれいに並べられ、順調に生育している苗の状態を確認することができました。川村会長は「苗づくりは順調。今年も適期田植えで良いスタートを切り、おいしい県産米を全国のお客さんにお届けしたい。県内全ての生産者がレベルアップして、山形県のお米はすべておいしいと言われるようになることが目標。」と米づくりにかける熱い思いを話してくれました。



きれいに揃った苗



生育状況を確認する川村会長（右端）